

“2018” 花で繋がろう！「唐丹希望基金」

— アリュウム ギガンチュウム を 植えませんか —

「送料自己負担していただける方に送ります。」

我が家では、毎秋、アリュウム ギガンチュウムの球根を植え、春を待ちます。翌年、5月下旬から7月上旬までの1ヶ月、紫のギガンチュウムと赤い芥子のコンスラストに魅了されます。

この球根は、甚大な津波被害を受けた大槌町の親戚から20個ほど貰って畑に植え、毎年植え直しを繰り返しているうちに増えたものです。

昨秋、640個ほどの球根を植え、今年も見事に咲きました！
根元に咲く芥子の赤と葉の緑、ギガンチュウムの紫が鮮やかで、毎年、この季節を迎えるのが楽しみです。**今年も、希望者に球根を送ります。**

今年も、沢山の方の庭で咲いたギガンチュウムの写真が届きました。福岡県福津市、岡山県岡山市、愛知県春日井市、大阪府枚方市、静岡県富士宮市、神奈川県川崎市、東京都荒川区、群馬県高崎市、長野県長野市から、蕾の出始めから満開までの写真を、毎月のように送って頂きました。北国・岩手から巣立った球根が、皆様の庭に根を下ろして、見事に咲く姿を見られることが私の大きな喜びとなりました。



「花で繋がろう！唐丹希望基金」

花言葉：「深い悲しみ」「正しい主張」

「育て方」

◆植える時期：10月～11月。40～50センチ間隔に穴を掘り、植えます。

春先に小さな葉が出てきて、だんだん葉が成長して広がってきます。次第に茎が伸びてきて、そのうち、小さな蕾をつけるようになります。茎は150センチ前後まで成長します。

気温の上昇に並行し、蕾がドンドン成長し5月下旬には、蕾がかすかな紫色になります。6月に、大きく成長した紫色の花を見ることが出来ます。地方によって咲く時期が異なります。（関東は5月、岩手は6月。）

◆球根を掘上げ、乾燥させる：茎が枯れたら必ず球根を掘上げ、秋まで日陰で保存します。

球根を掘らず、土に入れたままにしておくと、花は前年の半分以下になり、やがて消えてしまいます。

毎年、掘上げ、秋に植える事を続けると球根の数も増え、花も大きな立派な丸い花になります。

◆希望者は送り先住所と電話番号と共に高館までお知らせください。

10月下旬、ご自宅に送ります。

高館 千枝子 〒028-3603 岩手県紫波郡矢巾町西徳田 7-7

(Tel : 019-697-3851 tchieko@cocoa.ocn.ne.jp)